

社会資本総合整備計画																事後評価書							
計画の名称	2 市街地における安全・安心で快適に暮らせる都市環境づくり																						
計画の期間	平成31年度 ～ 令和04年度（4年間）																重点配分対象の該当						
交付対象	高知県, 南国市																						
計画の目標	高知県は、山地が多く可住地面積の割合が全国最下位であることから、交通が市街地に集中し渋滞が発生している。																						
	また、市街地においても急速に高齢化が進んでいることから、渋滞を緩和するとともに誰もが安心して歩いて暮らせる歩行空間の形成に向け、道路交通を適正に分散・誘導する道路整備が必要となっている。 このため、人々が安全で快適な都市生活を営むうえで必要となる幹線道路ネットワークや歩行空間を確保することで、安全・安心で快適に暮らすことができる都市環境づくりを行うとともに、移動エリアの拡大による交流人口の拡大を目指す。																						
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）			1,674		A	1,669		B	5		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R3末	R4末
1	安全・安心に通行できる歩道整備に伴う街路を起点としたまち歩きエリアの拡大			
	まち歩きエリアの拡大範囲 （幅員2．5m以上の歩道延長）×（まち歩き平均歩行距離） ※まち歩き平均歩行距離：2 km（片側1 km）	0ha	401ha	401ha
2	交通の円滑化（移動時間の短縮）に伴う交流エリアの拡大			
	移動エリアの拡大範囲 （移動短縮時間）×（現況混雑時旅行速度） ※移動短縮時間：（現道延長／現況混雑時旅行速度）－（整備延長／設計速度）	0km	2km	2km

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	高知県	直接	高知県	S街路	改築	A-1（都）高知駅秦南町線 （北工区）	街路築造 L=480m	高知市	■	■	■			136		－
	A01-002	街路	一般	高知県	直接	高知県	S街路	改築	A-2（都）高知南国線（篠 原工区）	街路築造 L=1,316m	南国市	■	■	■	■		1,253		－
		R5に防安へ移行																	
	A01-003	街路	一般	南国市	直接	南国市	S街路	改築	A-3（都）高知南国線（第 2 工区）	街路築造 L=210m	南国市	■	■	■			280		－
											小計						1,669		
											合計						1,669		

B 関連社会資本整備事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	B01-001	街路	一般	高知県	直接	高知県	—	交安	B-1 交通安全対策事業	信号機新設、信号機移設・改良	南国市			■			5	—	
		街路事業と一体となって交通安全施設を整備することにより、交通の円滑化と自転車・歩行者の安全性向上を図る。																	
		A-3関連																	
												小計						5	
											合計						5		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高知県都市計画課で実施	令和6年10月
	公表の方法
	高知県庁ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(都)高知駅秦南町線(北工区)及び(都)高知南国線(第2工区)の供用により、安心・安全な歩行空間が確保され、南海トラフ巨大地震等災害時の避難可能区域の増大が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	(都)高知駅秦南町線(北工区)の供用により、広域的な災害拠点病院に位置づけられている高知赤十字病院へのアクセス向上が図られた。
○特記事項(今後の方針等)	
高知南国線(篠原工区)においては、移行した重点計画で整備促進を図る。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	401ha	当初は令和５年度までの計画だったが、２路線は令和３年度に完了し、令和５年度より高知南国線（篠原工区）が他の計画へ移行したため、整備計画が変更となり、目標値に達することができなかった。
	最 終 実績値	138ha	
2			
	最 終 目標値	2km	当初は令和５年度までの計画だったが、２路線は令和３年度に完了し、令和５年度より高知南国線（篠原工区）が他の計画へ移行したため、整備計画が変更となり、目標値に達することができなかった。
	最 終 実績値	1km	